

細則様式第4号

論文審査及び最終試験結果報告書			
氏名	小池 祐士		
入学年度	平成 24 年度	学籍番号	12GG604
領域	健康支援科学	分野	老年保健学
審査委員	主査	石川 玲	
	副査	中村 敏也	
	副査	尾田 敦	
	副査	對馬 均	

論文題目： 立位保持能力が低い脳卒中片麻痺者の排泄動作支援に関する研究

審査結果要旨：

提出された審査論文では、脳卒中片麻痺者における排泄動作の自立を促すことをテーマとし、国内の研究のレビューからスタートし、現場での取り組み状況を調べ、座位で下衣を操作するために必要な身体能力を明らかにし、最終的に片麻痺者用股割れパンツの考案・試作とその効果について検討しており、研究は計画的かつ系統的に進められていた。

先行研究の多くが、排泄動作の自立に必要な機能の改善にのみ注目しているのに対して、本研究では、残存機能をフル活用した動作方法の工夫や下着の改良について着目している点に独創性がある。また研究の結果として、片麻痺者が便器に座った状態で下衣の上げ下ろしを行うために必要な残存能力を明らかにした点、改良した下着を使うことで、立てない脳卒中患者でも座ったままで排せつ動作を行なえることを実証した点は新規性に富む有益な成果である。

こうした研究の意義と結果については、学位審査会における発表および質疑応答において的確に示されており十分に理解されていた。また研究フィールドの開拓や対象者の協力を得るための倫理的配慮など、本申請者が独立して研究を遂行する能力と高い倫理観を身につけていることが学位論文及び学位審査会からうかがわれた。以上より、本論文は博士の学位に値するものと考えられる。

最終試験 平成 27 年 1 月 31 日

試験の結果は 合格 と判定する。